

スバル レヴォーグ (VM4) のリアコンビネーションランプ取り外し作業

スバル レヴォーグのリアコンビネーションランプ取り外し作業について紹介します。

リアコンビネーションランプ取り外し作業

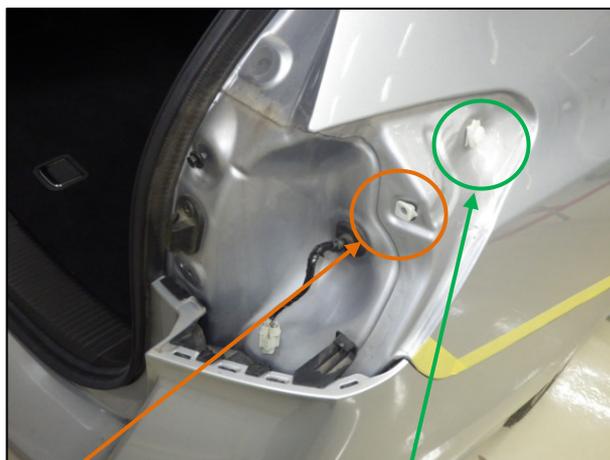
1. バッテリーセンサーからアース端子を外します。
2. リアコンビネーションランプ取り外し
 - ① 傷付き防止のためボデーに保護テープを貼ります。



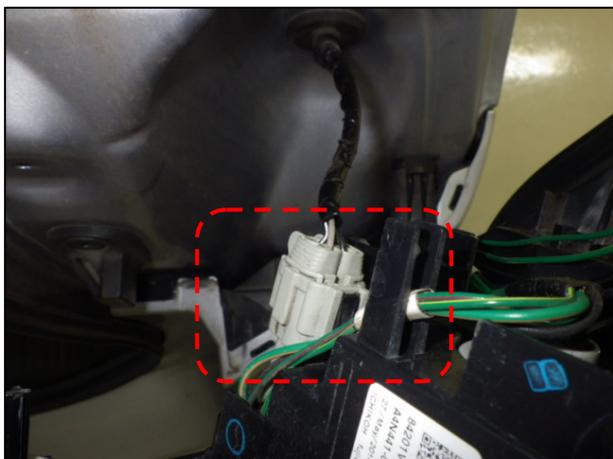
- ② 爪のかん合を外しカバー リアコンビネーションランプを取り外します。



③ ボルトおよびクリップのかん合を外し、ランプ ASSY リヤコンビネーションを後方へ引き出します。



④ コネクタを切り離します。



今回は、損傷がない車両の作業でしたので、使用されていた部品は全て再使用可能でした。

◆ リヤコンビネーションランプの取り外しは、単独での脱着が可能です。

※ 使用工具: 薄刃マイナスドライバー、10mm ボックスレンチ

※ DTSを検出する場合があるため、バッテリーのマイナス端子を取付けた後、10秒以上経過してからイグニッションスイッチをONにします。

※ バッテリー取り付け後に電子制御スロットルの初期診断が行われます。エンジン始動はイグニッションスイッチをONにして10秒以上経過してから行います。

詳しくは、メーカー発行の電子技術マニュアルを参照してください。